

一人の時とは全然違う！

きょうだいの子育てどうすればいいの？！ わからないことだらけ！みんなどうしてる？！

今2〜3才になる子どもたちはコロナ禍の真っ只中に生まれてきました。

そのような状況で子育てについて右も左もわからないお母さん達は、相談できる相手を求めて外に出ていくことが出来ませんでした。2才位の子は、自我の芽生え、自己主張が出てきてお母さんを困らせる行動をとるようになり、急に「やだ！」と主張が始まると「今までは無かったのに、なんで？」「私の育て方が悪かったの？」と、わからなくなるお母さん多いのではないのでしょうか。そんな中で下の赤ちゃんが生まれた人もいます。

今までは一人をずっと見ていればよかったのに、二人になるとお兄ちゃん、お姉ちゃんに手がかけられず、赤ちゃん返りをするようになります。急に抱っこばかりせがんだり、あれこれやってほしいと言われると、わがママを受け入れてしまっていることになるのか？とまたわからなくなるのではないかと思います。

上の子の自己主張、赤ちゃん返りや子育ての悩みに対して子育てにきているお母さん達の具体例をのせることで、みんな同じように悩んでいるんだと感じてもらえ、少し肩の荷が下りるといいなと思います。



自己主張が出ていたところに下の子が生まれて、更に赤ちゃん返りも加わって、毎日あれやってこれやってばかり言っている。いつまでこれが続くのかと思うと、毎日イライラすることばかり。でも保育士に今のうちにいっぱい手をかけておけば後が楽になるし、いい子に育つよと言われて母の気持ちが楽になった。

上の子に手がかかるので、赤ちゃんは寝かせっぱなしのことも…ごめんねと思いつつ赤ちゃんに触れ合える時間が少ない

おにいちゃん、おねえちゃんの あんな姿、こんな姿

赤ちゃんが生まれてから上の子を怒ることが増えてしまって、怒った後に悪かったなと反省する。他のお母さんはみんなちゃんと育児をしていると思ってしまふ。子どもの寝ている姿を見ると泣けてしまふ。

今まではお母さんの顔をうかがうことが多く、お兄さんでいたが、下の子が生まれたことでお母さんに見てもらいたくてヤダを出すようになった。保育士に「もうお兄さんじゃいられなくなったね」と言われて自分を出せるようになったんだと思えたら救われた気持ちになった。

2歳児の子どもがすた

イヤダメマン

「〇〇するつもり」のとき、
××されてしまうとモーレツに怒る！



よくばり

全部自分の物！
ぜったい貸さない！



甘えも強い

「自分でー」と言ったり、
「してー」と言ったり、
こうしてほしいという要求も強い



参考文献：「子育て支援ひだまり通信」
高山静子 著 より一部抜粋

自分の思い通りにならないと怒る
相手も自分と同じ気持ちだと思い込んでいる
2歳は自己チューです

10月31日は、第2子が生まれたことで出てきた悩みを、みんなで共有できる『子育て交流会』をしたいと思っています。まだ一人目のお母さんも、赤ちゃんが生まれるとこんな風になるのかな…と見通しがもてるので、ぜひ参加して下さい。悩みを吐き出したり、自分と同じように悩んでいる人がある、とわかるだけでも気持ちが楽になりますよ！

子どもたちは生きる力の基礎を身につけるときに間違いなく親を、大人を、まわりを、イライラさせるのです。じゃ、なぜイライラするのでしょうか？原因はたったひとつです。言うことをきかないからです。子どもが言うことをきいたらおとなは絶対イライラしませんよ。24時間ずっと笑顔でいられるでしょうね。わが子、わが孫、まわりの子どもがこういう状態だったら…でも、言っておきますがこんな子はいませんよ。

たとえば、「こっち来なさい」子どもたちがサッと来る。「寝なさい」パタッと寝る。「起きなさい」ガバッと起きる。「ごはん食べなさい」パツと食べる。あっち行ってサツ、こっち来てサツという状態だったら誰もイライラしません。最高ですよこんな状態だったら。

ところが現実はいきません。順調に育っている子はこうです。

「こっち来なさい」いやっ！「ごはん食べなさい」あっちにぼろぼろ、こっちにぼろぼろこぼす。「走っちゃダメ！！」チョロチョロ走るんです。でもこれが子どもたちなんです。

どうして子どもたちって悪いのでしょうか。子どもたちは生きる力の基礎を身につけると、やってはいけないことを全部やりまふ。やってはいけないことをし、叱られて学んでいきます。いいことをして褒めてもらい、いいことを学んでいきます。

子どもたちは手間ひまかけて大切に育ててほしいのです。子どもは大切に育てられるようになっていくのです。手間ひまかけて大切に育てられた子は、自分も人も大切にします。粗末に育てられた子は、自分も人も粗末にします。だから子どもたちは手間ひまかけて育ててもらうために、悪いことをするのです。だからイライラする、だから順調なんですよ。

みなさん、子どもって一回言っただけではわかりませんよ。でも一回言ったらわかってほしいと思っているでしょ。だから子どもにこう言ってませんか「もう何回言ったらわかるの！」と。わからないのです、すぐ忘れるのです。だから何回も何回もくり返し言うのです。もうこれしかありません。

ただ私たちは聞こうが聞かまいが、わかっていくわかっていくまが言いつづける。叱って、褒めて、伝えつづけるしかありません。大丈夫、必ずいつかわかる時がきますから。



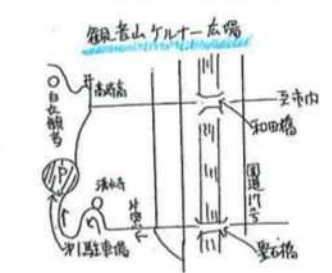
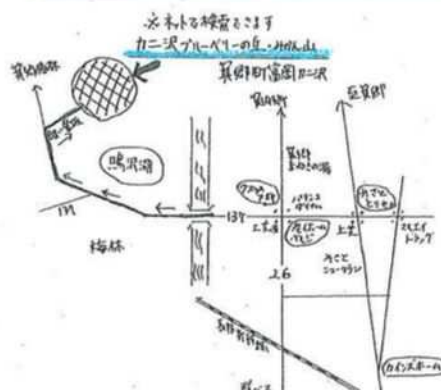
『うちの子、最高！—子どもたちに伝えたい！親として、おとなとして、地域として』
熊丸みづ子 著 より一部抜粋

どうして言うことを聞いてくれないの？！

子どもの自我の芽生え、自己主張にでんてこまい

ついイライラしてしまう…これっていけない親なの？！

でも、うちの子だけじゃないんだってホッとでき、元気をもらえる本です



- 10月5日(木) 鼻高希望の丘
- 10月13日(金) 上毛野はにわの里
- 11月1日(水) 観音山ケルナー広場
- 11月28日(火) 浜川公園 芝生広場

現地駐車場

9時40分
集合

11月7日(火) みかん狩り → 現地駐車場 10時集合

浜川公園芝生広場